

事業所名	運動療育KIDS みよし校		公表日		2025年 3月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員10名のところ、1コマ最大人数4名以内のご利用までとして、十分な活動スペースを確保しています。また指導員の目が行き届くよう死角がない空間です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	○		国の人員配置基準を遵守し、尚且つ、指導員と1対1の支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚優位のお子様にも合わせ、タイムキーパー等を用いて可視化したり、大きなホワイトボードを使い見通しカード等を使用し配慮しています。運動療育のため怪我がないように発達支援室にはマットを敷き詰めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		運動療育のため、発達支援室を有効利用できるように、その都度、教具の配置を変えています。また、日々の清掃は欠かしません。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		基本、お子様が望む場所で支援を提供できています。また、他のお子様とは別に過ごせる空間を提供することができています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	○		毎日の朝礼、支援後のフィードバックにて情報共有をしPDCAサイクルに活かしています。	常に最善の支援を提供できるよう、積極的に外部研修等にも参加します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		HUGのアプリ上でも公表しており、常に閲覧することが可能であります。引き続き検討、改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常に職員間でミーティングを行い、意見交換、事例検討等を含め、検討・改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は保護者様と従業員の評価のみとなっております。徐々にはありますが実習生の受入れ、関係機関の見学会を行っており外部の視点や意見を伺う機会を設けております。	いつでも誰でも見学等にお越しいただけるよう、SNS等を使用し弊所の様子を外部に発信していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修に参加、少なくとも月に1度の内部研修を行い、支援の質を高めるように努めております。	今後もより良い支援を提供するため、積極的に外部研修に参加していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		2025年3月現在、ホームページ上にて支援プログラムを公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		面談や適宜アセスメントを行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に捉えた分析をした上で、個別支援計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		朝礼及びミーティング等で職員間での情報共有は怠らないように努めております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援に入る前には個別支援計画書を確認し、支援を行っています。	目標達成が近づいた際には、速やかにモニタリングを行い、新たな目標設定を行うようにする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	面談を行いニーズを把握し、支援時に行動観察を行い個別支援計画書を作成しています。また、保護者様より医療機関等で実施された検査結果の情報を共有し、発達状況を把握し個別支援計画書を作成時に活かしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインの児童発達支援の提供すべき支援を参考にし、お子様に必要な支援内容を踏まえて個別支援計画書に反映、設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎日のミーティングの際、指導員リーダーよりプログラムの提案、それを基に全指導員が参加しよりよい支援に繋げております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		運動療育の事業所として、粗大運動・微細運動を反復しながら、お子様や保護者様のニーズを基に、様々なトレーニングを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		弊所は個別の運動療育のため、集団活動は望めないが、必要に応じて小集団での活動の提案も行っていきます。	現在、小集団での活動も取り入れている。ルールのある遊びでは個別支援よりも、小集団での取り組みの方がより良い支援が提供できている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には前回のケア記録を確認し、指導員間で確認し、より良い支援に繋がるように連携しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日にご利用された方々の様子を職員間で情報共有し、改善点・検討事項として報告しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		HUGのアプリを使用し、個別支援記録の作成を徹底しております。また、支援の検証・改善に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ね6ヶ月に1度、また、目標の達成が見受けられた際は、速やかにモニタリングを行って、再アセスメントを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催された際には、児童発達支援管理責任者及び適任者を選任し出席します。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各機関と連携し、情報共有や支援方針の共有を図っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園との併行通園や、移行に向けての利用時間や曜日の調整を行っています。保護者様や関係機関の意向を基に情報共有をし、相互理解に努めております。	今後は必要に応じて、園へも訪問に向う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様や関係機関の意向を基に情報共有をし、相互理解に努めております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		こども発達センターで発達検査や知能検査を受けた場合、保護者の同意を得た上で情報共有を行っています。また、こども発達センターが事業所に向けた研修を実施した際には、積極的に参加しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		残念ながら、現時点では交流を行ってはいません。	園との交流は難しいものの、地域交流として今後は夏祭り等を開催予定。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		HUGのアプリを使い、写真付きで支援時の様子をお伝えしています。また、送迎時に保護者様にお子様の家庭や園での様子をお聞きしております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		残念ながら、現時点では家族等で参加できる研修を提供できていないのが状況です。関係機関より保護者様向けの研修等の案内があった際にはお知らせしています。	弊所の職員が外部研修で学んだり、研修先での講師等と連携をし、家族支援プログラム等の研修の開催を弊所で行っていくように努める。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明させていただいております。必要に応じて、ふりがな等もふり、誰が見てもわかりやすいように配慮もしています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童発達支援計画を作成する際には、必ずお子様や保護者様の意思の尊重、最善の利益を考え、お子様や保護者様の意思決定支援を行っております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		必ず児童発達支援計画書を用いて保護者様に説明をし、同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		速やかに対応し、適宜、面談等を行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	残念ながら、現時点では開催しておりません。	世の中の長期休みで弊所の定休日を利用し、保護者会を開催予定。きょうだい児の交流も考え、遠足を企画中。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談申し入れ等には速やかに対応し、助言等を行うようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HUGのアプリを使用し、適宜お知らせしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫にて保管し、第三者の目に触れることがないように十分に配慮しています。またインターネットセキュリティに関しても、最善の対策を講じています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭でのコミュニケーション以外にも、筆談やiPad等を用いて情報伝達を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	残念ながら、現時点では案内ができておりません。	今後は地域の方々に事業所を開放し、どのようなことをしているのか知ってもらうことから始めてみる。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練及び研修を行っております。いつでもご覧いただけるように、玄関スペースにマニュアルを常設しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しており、研修及び訓練も行っております。備えに関しても、食品等はローリングストックを採用しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に、お客様の既往歴や服薬の有無等を確認し、アセスメントシートを用いて、保護者様にも健康状況を記入していただいております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		弊所では食事やおやつ提供はしないものの、アレルギーの有無などを確認し、支援時にアレルギーの事故等ないよう留意しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成、安全管理に必要な研修や訓練を行い、安全管理に努めております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	整備は行っているものの、ご家族との情報共有の部分が足りない状況です。	HUGのアプリを使用し情報を公開し、安心していただけるよう周知する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書に記入し、全職員で情報共有し、再発防止に取り組んでいます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		常に虐待防止について話し合いを行い、内部研修を徹底しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する機会を設けています。		